



オレゴン便り

発行:中野亜紀子

2013年



2月



2月も中旬になり、ここオレゴン州は、日中の平均気温も少しずつ高くなってきました。少しずつ、春が近づいてきていますね。

勤務校での様子から(節分の紹介)

小学4, 5年生の日本文化と会話の授業では、1月下旬と2月上旬の授業で節分について紹介しました。日本の小学生が豆まきをしている様子をビデオで見たり、鬼のお面を作り、「鬼は外、福は内」と実際に豆まきをしたりしました。今回は、豆の代わりに、新聞ボールで行いました。鬼のお面作りは、ぬり絵式ののものを選んだ子どももいましたが、自分でオリジナルの鬼の絵を書いた子どももいて、とても熱中して作成していました。完成したお面を顔に付けて、満足そうな笑顔が印象的でした。

この授業の翌週には、恵方巻き作りをしました。富山県でも恵方巻きが一般化してきたのは、ここ6, 7年くらいのことでしょうか。9月から子どもたちの様子を見てみると、食べられるもの、食べられないもの、好き嫌いが思ったよりも多いように感じていたので、具材には、玉子焼きやキュウリ、アボカド、カニカマ、ツナ、にんじん、コーン、桜でんぶ、レタス、白ゴマと多めに用意し、食べたいものだけいくつか選んで巻くように伝えてあったのですが、実際には、ほとんどすべてを入れて巻こうとし、中身が多すぎて巻けないという子どもが続出しました。桜でんぶや日本のマヨネーズ、カニカマは、アジアスーパーで購入しました。寿司酢やのりは、地元のアメリカのスーパーにも売っていました。ツナマヨネーズをごはんと一緒に食べると聞いて、「信じられない」という反応をした子どもがけっこういたのですが、実際に食べてみるとおいしかったようで、用意したツナは4分の1くらいしか残っていませんでした。これは、派遣前に東京外国語大学留学生日本語教育センターで3ヶ月間、日本語教育に関する事前研修を受けた際に、アメリカン・スクールの高校生を対象に行った教育実習の最後に行った手巻き寿司パーティーでも、食べる前は同じ反応だったのに、実際に食べてみるとおいしいと言った反応と同じでした。

恵方巻きを作った後、みんなで今年の恵方「南南東」を向いてみんなでまるかぶりしました。とてもおいしかったようで、食べ終わった後に、2本目を作りたいと言う子、同じ学校に通う兄弟に作りたいと言う子がたくさんいました。のりが嫌いだと言っていた子どもが、今回初めて食べてみて、すごくおいしかったと言ってくれたことにも感激しました。生徒たちには、英語で書かれた巻き寿司のレシピも渡したので、家で家族と一緒に作ってくれたらうれしいなと思っています。



恵方巻き作り



南南東を向いてまるかぶり



「鬼は外、福は内」

Mochitsuki Portland～餅つきポータルランド～

先月末の1月27日（日）に、ポートランド市内で、Mochitsuki Portland というイベントが開催されました。毎年1月にポートランド市内で開催されているイベントだそうです。会場内には、餅つきのデモンストレーションに、無料のお餅の試食コーナー、茶道や華道、和太鼓など、日本文化を紹介するブースやステージ発表、さらに日本食レストランのブースなど、様々な出展がありました。



私もこの日、子どもたちに折り紙で相撲取りを折って、ボール紙の土俵の上で遊ぶ「トントン相撲」を教えるボランティアとして参加してきました。たくさん子どもたちがブースを訪れてくれ、私もとても楽しい時間を過ごすことができました。派遣校の生徒も、保護者と一緒にイベントに来ていました。

2月の中旬には、ユージーン市で「アジアン・セレブレーション」という、アジアの文化を紹介するイベントが毎年開催されています。派遣校の和太鼓チームも、今年は2日間、発表をします。オレゴン州では、このような日本の文化を地域社会で紹介するイベントが思っていた以上にたくさん開催されているようです。今回、餅つきイベントにボランティアとして参加したように、今後もこのような機会を見つけて、地域の人々にも積極的に日本文化を紹介していきたいと思いました。

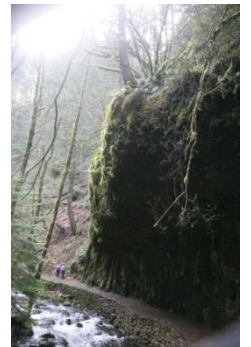
オレゴンの大自然～マウント・フッドとコロンビア川渓谷～

オレゴン州は、山と海に囲まれた自然豊かな州です。姉妹県州である富山県との共通点ですね。オレゴン州のシンボルと言えば、「マウント・フッド」です。高さ 3,429M のマウント・フッドには、いくつかの大きなスキー場があります。この時期は、たくさんスキーヤーやスノーボーダーでにぎわいます。アウトドアが盛んなオレゴン州では、海や山に休暇用のセカンドハウスを所有している人も珍しくありません。私のホストファミリーも、マウント・フッドのふもとの町にコテージを所有し、この時期は毎週末、スキーに行っています。天気の良い日には、車で2時間半ほど離れた私の住むマクミンビル市からも、マウント・フッドの雄大な姿を望むことができます。



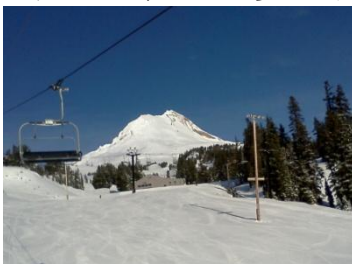
モルトノマの滝

また、氷河期の一連の鉄砲水によって作られたという「コロンビア川渓谷」も、オレゴン州の見所の一つです。沿道には滝もたくさんあり、ポートランド市からも近い「モルトノマの滝」には、年間を通じてたくさんの観光客が訪れています。

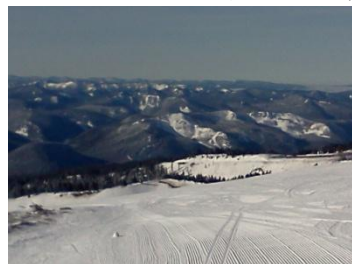


モルトノマの滝周辺のハイキングコース

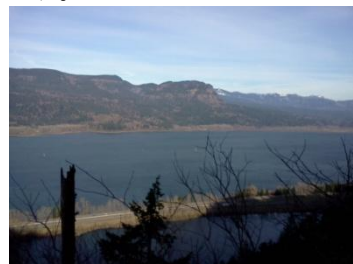
オレゴン州には、ハイキングコースもたくさんあります。マウント・フッドやコロンビア川渓谷周辺の北部だけではなく、オレゴン州中部や南部にも数多くのハイキング用のトレイルが整備されているそうです。2月上旬の週末、快晴で最高気温も13度ほどまで上がった日に、ホストファミリーと一緒にモルトノマの滝からワッキーナの滝までの8キロほどのハイキングコースを3～4時間かけて歩いてきました。歩いていると2月にも関わらず、幅広い年代の多くの人々とすれ違いました。近年日本では、「山ガール」という言葉が流行したことがあったと思いますが、オレゴン州でも、若い女性同士でハイキングを楽しんでいる姿を見かけました。このハイキングコースは、4月5月になると、ハイキングトレイルが混雑するほど、もっと多くの人々がハイキングに訪れるそうです。



マウント・フッドとスキー場



スキー場からの眺め



コロンビア川渓谷

